株式会社ジーンベイ ランチョンセミナー
「ナノポアシークエンスによるゲノム・トランスクリプトーム解析」

日 時　3月15日（水）12:45–13:45　　会 場　X会場

上村泰央（株式会社ジーンベイ）

ナノポアシークエンサーは，DNA鎖またはRNA鎖がナノポアと呼ばれるタンパク質ポアを通過する際に生じる電位の変化を検知することによって，塩基配列を解読することができる最先端の次世代シークエンサーである．ナノポアシークエンサーの最近の進歩は目覚ましく，今や高等生物のゲノム解析はもちろん，トランスクリプトーム解析やエピゲノム解析にまで広く利用され始めている．本セミナーでは，ヒトや植物のサンプルを用いたゲノム，トランスクリプトーム，メチル化解析の事例を紹介し，現在のナノポアシーケンス解析の現状と精度について紹介します．

PCPランチョンセミナー
「Publishing Success with Plant & Cell Physiology」

日 時　3月15日（水）12:45–13:45　　会 場　Z会場

言 語　英語

スピーカー：坂本 亘（PCP編集長）・Liliana Costa（PCPマネージング・エディター）

論文の出版は，研究開発の重要な要素であり，知識を広く普及させることで，様々な分野での科学の発展を促す．本セミナーでは，ジャーナルの最新情報を伝えるだけでなく，投稿前，投稿，採択後のすべての段階において，論文出版を成功させるためのヒントを提示し，研究の出版に関するより深い知識を提供する．最後に，プレスリリースで注目を集めたPCPの論文について振り返り，PCPエディターを交えての公開討論を行う．

セミナー概要：
1. ジャーナルの最新の動向
2. PCPでの出版を成功させるヒント
3. Q & A —PCP編集実行委員と編集室への質疑を受け付けます

株式会社エビデント ランチョンセミナー
「植物受精の動態をライブイメージングで観察する」

日 時　3月16日（木）12:15–13:15　　会 場　X会場

主 催　株式会社エビデント

言 語　日本語

丸山 大輔 先生（横浜市立大学 木原生物学研究所 准教授）

細胞が丈夫な細胞壁に囲まれた植物も，細胞自体や細胞内構造をダイナミックに変形させることで細胞の重要な機能を支えている．そのため，この挙動を余すことなく捉えることが，研究に新たな展開をもたらす原動力となる場合がある．被子植物の生殖では，配偶子を他個体へと送り届けて受精させる一連の過程に，細胞核の長距離移動 1）やペプチドの極性分泌 2），精細胞の裸出 3）など他の組織には見られない興味深い細胞現象が存在する．本講演ではこれらの現象を解析したシロイヌナズナの研究を例に，植物試料の準備法や培養系の工夫を交えながら，スピニングディスク式の共焦点顕微鏡を使用したタイムラプス撮影の魅力を紹介する．

1）Motomura et al., *Nat. Commun.* **12**, 1–11., 2021
2）Susaki et al., *Plant Cell*, *In Press*, 2022
3）Sugi et al., *Front Plant Sci.*, *Accepted*, 2023

トピックス：・花粉管伸長のタイムラプス像（oil VS silicone）
・花粉管の内部形質膜の役割（Nature Communications）
・内部形質膜の崩壊と受精（Frontiers in Plant Science）
・助細胞アクチンの機能解析（Plant Cell）

EVIDENT

国際委員会ランチョンセミナー
「留学のすゝめ」

日 時　3月16日（木）12:15–13:15　　会 場　Z会場

主 催　日本植物生理学会国際委員会 / 海外日本人研究者ネットワーク（UJA）

言 語　日本語

パネリスト：大前奈月（華中農業大学/中国・武漢）
浜地貴志（ドナルドダンフォース植物科学センター / アメリカ・セントルイス）
古水千尋（広島大学）
竹中瑞樹（京都大学）
巽奏（ストラスブール大学/ フランス・ストラスブール）
野田口理孝（名古屋大学）

日本植物生理学会国際委員会では，海外留学を経験した研究者の数を増やすことで，研究者コミュニティの国際的な研究競争力やプレゼンスの強化を目指しています．現在，多くの人が海外留学に興味を持っていますが，情報不足から留学の実態が掴めず不安を抱えているケースも見られます．この不安を解消し，海外留学というキャリアを考えるためには，留学経験者から活きた情報を得ることが最も効果的です．本ランチョンセミナーでは，様々なバックグランドを持つ海外留学経験者を講演者として招待し，「留学のリアル」を共有していただきます．セミナーは，フラッシュトークの後，パネルディスカッションを行い，会場からの質問に答える形で進行します．留学予定の有無にかかわらず，留学･留学後のキャリアについて関心がある全ての方々の参加をお待ちしています．

男女共同参画ランチョンセミナー
「私たちはどう雇い，どう雇われるべきか：大規模調査データから研究の現場を考える」

日 時　3月17日（金）12:15–13:15　　会 場　X会場

主 催　日本植物生理学会男女共同参画委員会

講師：須藤 雄気 博士（岡山大学 教授/日本生物物理学会）

今年の男女共同参画ランチョンセミナーでは，2021年10月20日～11月30日に行われた「第5回科学技術系専門職の男女共同参画実態調査」の分析結果をもとに，日本の科学技術分野の雇用の現状と課題について考えます．このために，調査結果の分析取りまとめを担当されました須藤 雄気 博士をお招きし，分析結果についてご講演いただきます．とくに法定の雇用期間の上限規定が研究の現場や男女格差にどう影響したのか，それに対して私たちは各立場から今後どう対応すべきなのか，データを読み解きながら考えたいと思います．若手も女性もシニアも活躍できる植物生理学の現場のために，私たちができること，やるべきことについて，みなさまのご意見をお聞かせください．

※先着100名様までにお弁当とお茶を用意しています．事前申し込みは不要です．